

＜資料提供＞
令和元年6月18日
県民文化スポーツ部文化振興課
担当：東 勝彦
内線：3842
外線：076-225-1372

令和元年度石川県職員（県立美術館学芸員、県立歴史博物館学芸員） 採用選考試験の実施について

令和元年度石川県職員（県立美術館学芸員、県立歴史博物館学芸員）採用選考試験を次のとおり行います。

1 採用予定人数

- (1) 県立美術館学芸員（日本美術） 2名
- (2) 県立歴史博物館学芸員（日本美術史、日本近世史） 各1名

2 受付期間

- (1) 県立美術館学芸員 令和元年6月19日（水）～7月16日（火）
※7月16日までの消印有効
- (2) 県立歴史博物館学芸員 令和元年6月19日（水）～7月22日（月）
※7月22日までの消印有効

3 受験資格、提出書類、試験の日時、場所及び方法

- (1) 県立美術館学芸員
別添、令和元年度石川県職員（県立美術館学芸員）採用選考試験案内をご覧ください。
- (2) 県立歴史博物館学芸員
別添、令和元年度石川県職員（県立歴史博物館学芸員）採用選考試験案内をご覧ください。

※ (1)、(2)の採用選考試験は、提出書類や試験の日時等が異なりますので、それぞれの試験案内により、内容をご確認ください。

4 問い合わせ・受験申込書提出先

- (1) 県立美術館学芸員
金沢市出羽町2番1号 石川県立美術館 TEL 076-231-7580
- (2) 県立歴史博物館学芸員
金沢市出羽町3番1号 石川県立歴史博物館 TEL 076-262-3236

令和元年度 石川県職員(県立美術館 学芸員)採用選考試験案内

令和元年6月19日
石川県

受付期間 令和元年6月19日(水)～令和元年7月16日(火)(7月16日までの消印有効)

1 職種、採用予定人員及び職務内容等

職種	採用予定人員	職務内容等
学芸員(日本美術)	2名	県立美術館などにおいて、美術作品等に関する調査・研究、保管や展覧会等の企画立案、普及教育等に関する専門業務

2 受験資格

(1) 年齢・学歴

昭和35年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法による大学(短期大学を除く)、または大学院で美術に関連する専門課程を卒業(修了)した者、または令和2年3月31日までに卒業見込みの者で、美術または美術史を専攻した者

(2) 資格

博物館法に定める学芸員の資格を有する者、又は令和2年3月31日までに取得見込みの者

ただし、地方公務員法第16条に規定する次の欠格条項のいずれかに該当する者は受験できません。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人
- (2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (3) 石川県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (4) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 提出書類

- (1) 令和元年度石川県職員(県立美術館 学芸員)採用選考試験申込書(別添様式)
- (2) 学芸員資格取得証明書(資格試験合格証書(写)、単位取得証明書等)または取得見込証明書
- (3) 大学卒業(大学院修了)(見込)証明書

4 申込手続

(1) 申込書請求先

ア 申込書は、石川県立美術館または石川県民文化スポーツ部文化振興課で配布しています。

(石川県立美術館ホームページからダウンロードすることもできます。[10 問い合わせ先を参照])

イ 申込書を郵便で請求する場合は、返信用封筒(140円分の切手を貼った角形2号の封筒にご自分の郵便番号・住所・氏名を明記したもの)を同封のうえ、封筒の表に「学芸員採用選考試験申込書請求」と朱書きして石川県立美術館へ郵送してください。

(2) 申込方法

受付期間 令和元年6月19日(水)から令和元年7月16日(火)まで(7月16日までの消印有効)

提出書類は、石川県立美術館に郵送又は持参してください。郵送する場合は、必ず特定記録郵便又は簡易書留郵便にして、封筒の表に「学芸員選考試験申込書在中」と朱書きしてください。また、持参による受付事務は、午前9時から午後5時30分まで行います。なお、提出書類は、返却いたしません。

5 試験の方法

区分	試験種目	配点	内 容
第1次試験	教養試験(60分)	100点	公務員として必要な一般的知識及び能力について、択一式による筆記試験を行います。(50題)
	専門試験(120分)	200点	職務に必要な専門的知識及び能力について、記述式による筆記試験を行います。
	適性検査	—	職務遂行に必要な素質及び適性について検査を行います。
第2次試験	第1次試験合格者に対して、次により行います。		
	論文試験(60分)	200点	与えられた課題に対する、理解度、思考力及び文章による表現力について論文試験を行います。
	面接試験	800点	主として人物について、個別面接により試験を行います。
受験資格等の調査		—	受験資格の有無、申込書記載事項の真否等について調査します。

(注1) 一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。

(注2) 適性検査の結果は、第2次試験の面接の参考として使用します。

(注3) 最終合格者は、第1次試験及び第2次試験の成績を総合して決定します。

6 試験の日時、場所及び合格発表

第1次試験日時: 令和元年8月4日(日) 午前10時30分から午後4時頃まで

第1次試験会場: 石川県文教会館(石川県金沢市尾山町10-5) 石川県文教会館ホームページ <http://www.bunkyo.or.jp/>

第1次試験について、令和元年8月23日(金)に受験者全員に合否の結果等を通知します。なお、通知が届かない場合は、必ず問い合わせてください。

第2次試験について、令和元年9月上旬から中旬に金沢市内で実施する予定ですが、詳細は第1次試験合格通知に併せて連絡します。また、令和元年10月上旬(予定)に第2次試験対象者に合否の結果を通知します。

7 合格から採用まで

合格者は、原則として令和2年4月1日に採用され、石川県立美術館に勤務することになります。ただし、令和2年3月31日までに学芸員の資格が取得できなかった者は採用されません。

8 試験結果の開示

この試験結果については、石川県個人情報保護条例第23条第1項の規定により、次のとおり口頭で開示を請求することができます。

試験	開示請求できる者	開示内容	開示期間	開示場所
第1次試験	第1次試験 不合格者	種目別得点、その合計点及び総合順位	合格発表の日から起算して1か月間 (県の休日を除く日の 午前9時から午後5時まで)	石川県立美術館 (金沢市出羽町2番1号)
第2次試験	第2次試験 不合格者			

(注1) 必要持参書類・・・本人宛の通知書(本県が発した本件に係る通知書)又は自動車運転免許証、旅券など官公署の発行する写真貼付の証明書、その他本人であることを確実に証明できる書類

(注2) 電話、はがき等による請求及び本人以外の請求はできません。

9 給与等の待遇

(1) 初任給

採用時の年齢	給料月額+地域手当
22歳(大学卒)	約 200,300 円
30歳(大学院卒 職務経験 6年)	約 268,300 円
40歳(大学院卒 職務経験16年)	約 306,700 円

(注) この額は、平成31年4月採用者のもので、金沢市内で勤務した場合の地域手当を加算した額となっています。今後、人事委員会勧告に基づき改定されることがあります。

(2) 諸手当

期末手当、勤勉手当、扶養手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当等が、それぞれの支給要件に応じて支給されます。

(3) 勤務時間等

4週8休の勤務体制となっています。

また、休暇は、年次有給休暇(年間20日、採用1年目は採用月に応じ2～15日)のほか夏期休暇などの休暇が付与されます。

(4) 福利厚生

健康の維持・増進のための各種健康診断、給付・貸付事業を行う共済制度及び互助会制度等があります。

10 問い合わせ先(申込書の請求先及び必要書類の提出先)

石川県立美術館

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2番1号 TEL(076)231-7580

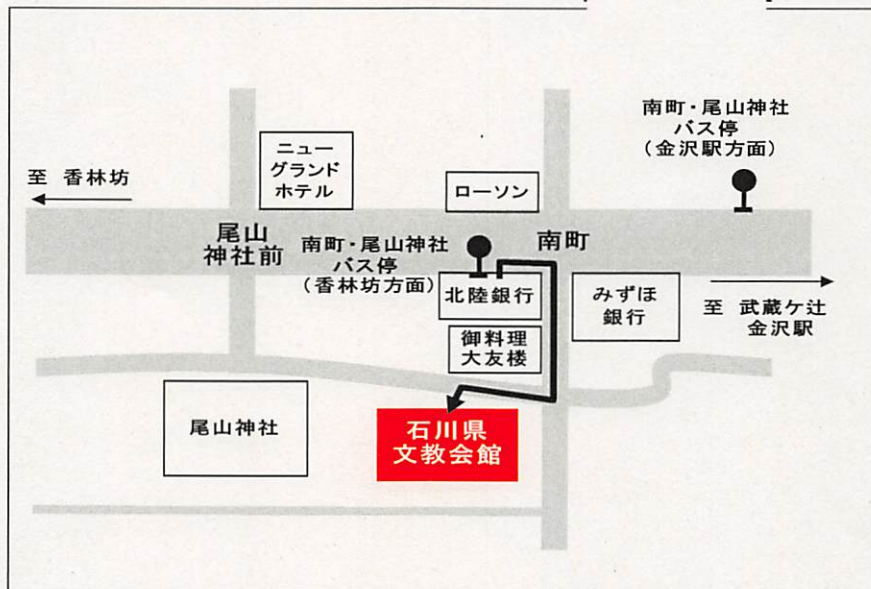
石川県立美術館ホームページ <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp>

☆☆ 石川県立美術館が求める学芸員像 ☆☆

本館では、次のような学芸員を求めています。

- 当館の業務に熱意と協調性を持って取り組む学芸員
- 自らの専門分野に固執することなく、美術館活動全般において、意欲的に取り組む学芸員

第1次試験会場案内図



● 交通アクセス

・金沢駅からお越しの方

金沢駅より香林坊方面行のバスをご利用ください。

「南町・尾山神社」下車(所要約10分)、徒歩2分。

・小松空港からお越しの方

小松空港より「金沢駅」行バス(所要約40分)

金沢駅より香林坊方面行のバス「南町・尾山神社」下車(所要約10分)、徒歩2分。

注 意

試験会場(石川県文教会館)には駐車場がありません。試験会場への車の乗り入れは禁止します。

※ 受付年月日	※ 受付番号

令和元年度石川県職員(県立美術館 学芸員)採用選考試験申込書

石川県立美術館

ふりがな 1 氏名	-----	4 試験区分 学芸員	写真欄 ・この欄には、最近6か月以内に撮影した脱帽、正面向きで背景のない上半身の4.5cm×3.5cmの写真をとれないように写真の裏面全体にのりをつけて貼ってください。 ・裏面に氏名、生年月日を記入してください。
3 生年月日	昭和・平成 年 月 日生	5 受験地 金沢市	年 月撮影
6 現住所	〒 (TEL - -) (携帯電話 - -)		
7 合格通知先 (現住所と同じ場合は同上と記入してください。)	〒 (TEL - -)		

8 学歴 (最終学歴と高等学校以後の学歴を順に記入してください。予備校を除く。)

学 校	学部(学類)・研究科	学科(コース)・専攻	所在地(市区町村名まで)	修学状況(令和:R、平成:H、昭和:S)
最終学歴			都道 市区 府県 町村	____年 ____年卒業 ____月入学 ____月中退 ____学年 卒見込 在学中
その前			都道 市区 府県 町村	____年 ____年卒業 ____月入学 ____月中退
その前			都道 市区 府県 町村	____年 ____年卒業 ____月入学 ____月中退
高等学校			都道 市区 府県 町村	____年 ____年卒業 ____月入学 ____月中退

9 職歴 (自家営業を含め、今までの職歴を記入してください。職歴がない場合は斜線を引いてください。)

勤務先(部課名まで)	職名・職務内容	従事した業務	所在地(番地まで詳しく)	在職期間 (令和:R、平成:H、昭和:S)
現在の勤務先				年 月から
その前				年 月から 年 月まで
その前				年 月から 年 月まで
その前				年 月から 年 月まで
その前				年 月から 年 月まで

10 免許、資格等(運転免許、学芸員等保有する資格は、取得見込みを含め、必ず記入してください。)

名 称	段 級 位 等	取得(見込)年月(令和:R、平成:H、昭和:S)	発 行 者
		年 月 取得 取得見込	
		年 月 取得 取得見込	
		年 月 取得 取得見込	
		年 月 取得 取得見込	
		年 月 取得 取得見込	

11 賞罰(賞罰について記入してください)

年号	年	月	賞 罰

私は、令和元年度石川県職員(県立美術館 学芸員)採用選考試験を受験したいので申し込みます。
 なお、私は試験案内に掲げてある受験資格をすべて満たしており、また、この申込書のすべての記載事項に相違ありません。
 令和 元 年 月 日 氏 名 (自署のこと)

- 記入上の注意
- ※印欄(受付年月日及び受付番号)を除き、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
 - 数字は算用数字を用いてください。
 - 合格通知等は、「7 合格通知先」へ行きます。

令和元年度 石川県職員（県立歴史博物館 学芸員）採用選考試験案内

令和元年6月19日

石 川 県

令和元年度石川県職員（県立歴史博物館 学芸員）採用選考試験を次のとおり募集します。

1 受付期間

令和元年6月19日（水）～令和元年7月22日（月）消印有効

2 採用予定人数及び職種

職 種	職 務 内 容 等	採用予定人員
学 芸 員 （日本美術史）	県立歴史博物館などにおいて、日本美術史に関する調査収集や展覧会等の企画立案、普及啓発に関する専門業務	1名
学 芸 員 （日本近世史）	県立歴史博物館などにおいて、日本近世史に関する調査収集や展覧会等の企画立案、普及啓発に関する専門業務	1名

3 応募資格要件

(1) 学 歴

① 日本美術史 学校教育法による大学（短期大学を除く）又は大学院で日本美術史に関する専門課程を卒業（修了）した者、又は令和2年3月31日までに卒業（修了）見込みの者で、日本美術史を専攻した者

② 日本近世史 学校教育法による大学（短期大学を除く）又は大学院で日本近世史に関する専門課程を卒業（修了）した者、又は令和2年3月31日までに卒業（修了）見込みの者で、日本近世史を専攻した者

(2) 学芸員資格を有する者、又は令和2年3月31日までに資格取得見込みの者

(3) 年 齢 昭和35年4月2日以降に生まれた者

(4) 欠格条項 地方公務員法第16条に規定する次の欠格条項に該当する者は応募できません。

① 成年被後見人又は被保佐人

② 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

③ 石川県職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者

④ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4 応募必要書類

(1) 令和元年度石川県職員（県立歴史博物館学芸員）採用選考試験申込書（別添様式）・・・1通

(2) 自己紹介書（別添様式）・・・1通

(3) 大学卒業（又は見込）証明書又は大学院修了（又は見込）証明書・・・1通

(4) 学芸員資格取得（又は見込）証明書・・・1通

(5) 業績一覧（別添様式）・・・1通

(6) 主要論文（卒業論文、修士論文を含む）の写し・・・2編各2部

5 応募方法

- (1) 応募必要書類の提出は、石川県立歴史博物館総務課あてに郵送又は持参してください。
- (2) 郵送する場合は、封筒の表に「学芸員申込」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。
- (3) 応募締切後、8月15日（木）までに書類審査結果及び試験日程等を郵送で通知します。
（8月15日（木）までに通知が届かない場合は、必ず連絡願います。）
- (4) 提出された応募書類は、返却しません。

6 選考方法

区 分	審査種目	配 点	内 容
書類審査	業績一覧 主要論文	250点	職務に必要な能力や意欲について、提出された業績一覧及び主要論文により審査します。
第1次試験	書類審査合格者に対し、次により行います。（8月下旬実施）		
	小論文 （60分）	250点	博物館に対する理解度、思考力及び文章による表現力について論文試験を行います。
	適性検査	—	職務の遂行に必要な素質及び適性について検査を行います。 （注）適性検査の結果は、第2次試験の面接の参考として使用します。
第2次試験	第1次審査合格者に対して、次により行います。（9月上旬実施）		
	面接試験	500点	主として人物について、個別面接により試験を行います。

（注）最終合格者は、書類審査、第1次試験及び第2次試験の成績を総合して決定します。

7 採用予定時期

採用が内定した者は、原則として令和2年4月以降に採用され、石川県立歴史博物館に勤務することとなります。ただし、令和2年3月31日までに学芸員の資格が取得できなかった者は採用されません。

8 選考結果の開示

この選考結果については、石川県個人情報保護条例第23条第1項の規定により、口頭で開示を請求することができます。

なお、電話、はがき等による請求はできませんので、受験者本人が本人宛の通知書（石川県立歴史博物館が発した本件に係る通知書）又は自動車運転免許証、旅券等官公署の発行する写真貼付の証明書、その他本人であることを確実に証明できる書類を持参の上、県の休日を除く日の午前9時から午後5時までの間に開示場所へお越しください。

区 分	開示請求できる者	開 示 内 容	開示期間	開 示 場 所
書 類 審 査	書類審査不合格者	当該審査・試験の点数及び順位	合格発表の日から起算して1カ月間	石川県立歴史博物館総務課 （金沢市出羽町3番1号）
第1次 試験	第1次試験不合格者			
第2次 試験	第2次試験不合格者			

9 給与等の待遇

(1) 初任給

採用時の年齢	給料月額+地域手当
22歳(大学卒)	約 200,300円
30歳(大学院卒 職務経験 6年)	約 268,300円
40歳(大学院卒 職務経験16年)	約 306,700円

(注) この額は、平成31年4月採用者のもので、金沢市内で勤務した場合の地域手当を加算した額となっています。今後、人事委員会勧告に基づき改定されることがあります。

(2) 諸手当

期末手当、勤勉手当、扶養手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当等が、それぞれの支給要件に応じて支給されます。

(3) 勤務時間等

4週8休の勤務体制となっています。

また、休暇は、年次有給休暇(年間20日、採用1年目は採用月に応じ2~15日)のほか夏期休暇などの休暇が付与されます。

(4) 福利厚生

健康の維持・増進のための各種健康診断、給付・貸付事業を行う共済制度及び互助会制度等があります。

☆☆石川県立歴史博物館が求める職員像☆☆

本県では、当館の魅力向上と活性化に向け、次のような人材を求めています。

- 石川県の歴史と文化に係る新たな価値を創出できる調査研究能力を持つ人材
- 石川県の歴史と文化の魅力を広く発信する展覧会や教育事業を企画立案できる人材
- 業務に責任感を持って従事するとともに、高いコミュニケーション能力を持つ人材

(連絡先) 〒920-0963 石川県金沢市出羽町3番1号
石川県立歴史博物館 総務課
TEL:076-262-3236

※ 受付年月日	※ 受付番号

令和元年度石川県職員(県立歴史博物館 学芸員)採用選考試験申込書

石川県立歴史博物館

ふりがな 1 氏名		4 試験区分 学芸員	写真欄 ・この欄には、最近6か月以内に撮影した脱帽、正面向きで背景のない上半身の4.5cm×3.5cmの写真をとれないように写真の裏面全体にのりをつけて貼ってください。 ・裏面に氏名、生年月日を記入してください。
3 生年月日	昭和・平成 年 月 日生		
6 現住所	〒 (TEL - -) (携帯電話 - -)		年 月 撮影
7 合格通知先 (現住所と同じ場合は同上と記入してください。)	〒 (TEL - -)		

8 学歴 (最終学歴と高等学校以後の学歴を順に記入してください。予備校を除く。)

学 校	学部(学類)・研究科	学科(コース)・専攻	所在地(市区町村名まで)	修 学 状 況 (令和:R、平成:H、昭和:S)
最終学歴			都道 市区 年 月入学 府県 町村 年 月入学	年 卒業 卒見込 年中退 在学中
その前			都道 市区 年 月入学 府県 町村 年 月入学	年 卒業 年中退
その前			都道 市区 年 月入学 府県 町村 年 月入学	年 卒業 年中退
高等学校	/		都道 市区 年 月入学 府県 町村 年 月入学	年 卒業 年中退

9 職歴 (自家営業を含め、これまでの職歴を記入してください。職歴がない場合は斜線を引いてください。)

勤務先(部課名まで)	職名・職務内容	従事した業務	所在地(番地まで詳しく)	在職期間 (令和:R、平成:H、昭和:S)
現在の勤務先				年 月から
その前				年 月から 年 月まで
その前				年 月から 年 月まで
その前				年 月から 年 月まで
その前				年 月から 年 月まで

10 免許、資格等 (運転免許、学芸員等保有する資格は、取得見込みを含め、必ず記入してください。)

名 称	段 級 位 等	取得(見込)年月(令和:R、平成:H、昭和:S)	発 行 者
		年 月 取得見込	
		年 月 取得見込	
		年 月 取得見込	
		年 月 取得見込	
		年 月 取得見込	

11 賞罰 (賞罰について記入してください)

年号	年	月	賞 罰

私は、令和元年度石川県職員(県立歴史博物館 学芸員)採用選考試験を受験したいので申し込みます。
なお、私は試験案内に掲げてある受験資格をすべて満たしており、また、この申込書のすべての記載事項に相違ありません。

令和 元 年 月 日 氏 名 (自署のこと)

- 記入上の注意
- ※印欄(受付年月日及び受付番号)を除き、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
 - 数字は算用数字を用いてください。
 - 合格通知等は、「7 合格通知先」へ行きます。

自己紹介書

令和元年 月 日記載

石川県立歴史博物館

受験番号	(記載しなくてよい)		ふりがな		性別	生年月日		平成31年4月1日現在	
			氏名		男・女	昭和・平成 年 月 日生		歳	
最終学歴	学校	学部	学科	在学期間			卒・中退等	専攻	
				年 月から 年 月まで			卒業(修了) 卒業(修了)見込 中退		
最終の勤務先	勤務先(部、課、係まで)			所在地		在職期間			職名
						年 月から 年 月まで (年 カ月間)			
	勤事業先内容の容								
従業事務した容									
志望理由	(石川県を志望する具体的理由をご記入ください(U・Iターン希望等。))								
職務関連スキル	(県職員(学芸員)採用選考試験申込書の「10 免許、資格等」のほか、あなたが保有するICTやパソコン操作、語学等、歴史博物館の職務に活かせると思われる特技、スキルを記入してください)								
自己分析	(あなたの性格、セールスポイント等について記入してください)								
職場、地域等における活動	(ボランティア、クラブ活動等でのあなたの役割等について記入してください)								

記入しないでください →

※ この用紙は、該当する項目のすべてについて記入し、申込書に添えて提出してください。

※ この用紙は、あなたをPRするためのものです。記載された内容は、審査の対象となりますから正確に記載してください。

業 績 一 覧

A4版用紙の右上に氏名と頁数（NO1～）を記載し、以下、内容別に横書き・新規順に記載してください。

1. 研究

※ 編著書、学術論文、報告書、資料目録、図録など項目を示し記載。査読論文の場合、タイトルに下線表記してください。

- ① 著者名
- ② タイトル ※書籍の場合は分担部分タイトル
- ③ 所収先（雑誌名又は書籍名）
- ④ 巻号数
- ⑤ 発行・出版元
- ⑥ 頁数
- ⑦ 発行年月 ※西暦表記
- ⑧ そのほか（受賞など）

【記載例】

（編著書）

石川太郎「加賀藩の政治と文化」能登次郎編『石川の歴史』金沢出版 38～42頁
2017年8月

（学術論文）

石川太郎「一向一揆の研究」『日本歴史研究誌』4巻3号 日本歴史学会 1～12頁
2018年3月

2. 学会発表

- ① 発表者名
- ② タイトル
- ③ 発表会名
- ④ 発表場所
- ⑤ 発表年月

【記載例】

出羽一郎・石川太郎・広坂次郎「能登の古墳文化」北陸考古学会年会 金沢大学
2017年6月

3. 共同調査研究など

- ① 調査名称
- ② 調査主体
- ③ 調査研究責任者の職・氏名
- ④ 実施期間
- ⑤ 参画のかたち
- ⑥ 活動内容

【記載例】

「石川県における製塩土器の分布」石川県立歴史博物館 学芸部長 石川太郎
2016年4月～2017年3月 能登地区調査担当 遺跡の踏査、採集遺物の分類・整理・
実測

4. 展示・教育など博物館活動

- ① 事業名
- ② 実施期間
- ③ 担当業務

【記載例】

石川県立歴史博物館特別展「明治維新」 企画担当 2018年8月1日～9月5日